

電話網廃止に向けた取り組み

2015年 5月 26日 (火)

CEDI小委員会

促進WG対商社TM

技術・標準WG

1. 電話網廃止に向けた本年度の取り組み
2. 「電話網（PSTN）からIP網への円滑な移行について」
NTT東日本・NTT西日本
3. 想定される対応策について

1. 電話網廃止に向けた本年度の取り組み

活動テーマ：2025年問題(電話網廃止)の最新情報収集

(活動内容)

①電話網廃止の取組みの理解

NTT東西に確認「計画と現状について」

②世の中の動き、取組み状況

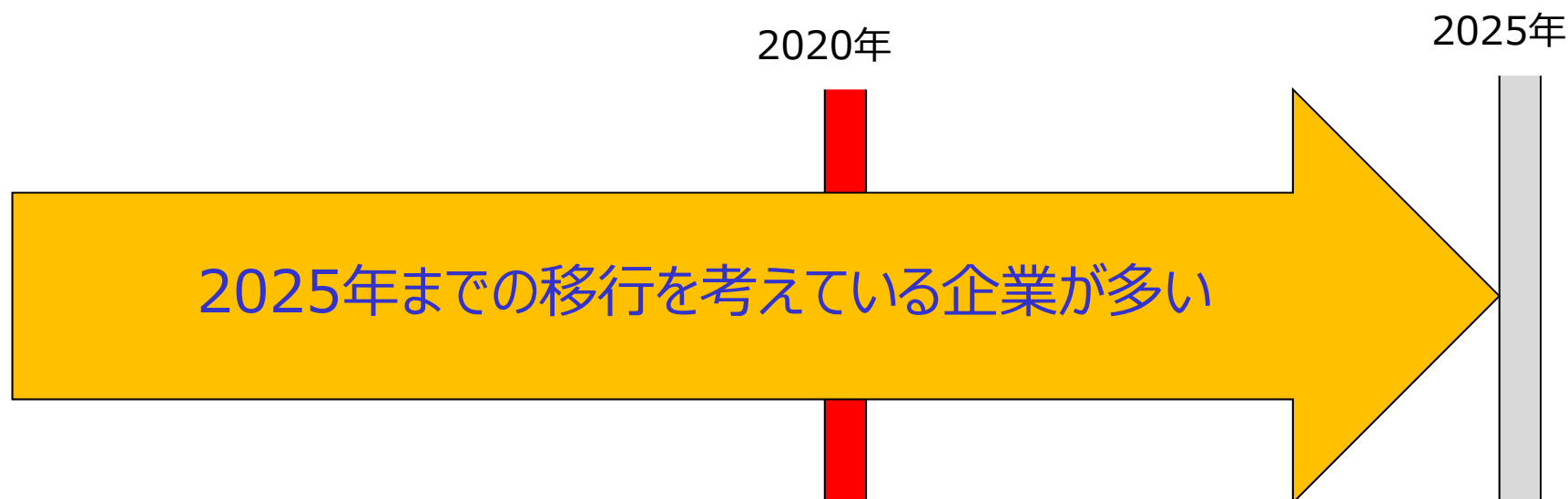
業界団体、ベンダーと意見交換「認識と取組み状況」

③化学会社の認識と取組み状況

情報通信委員会メンバー会社にアンケート調査

(1) 取り組みの状況

- ・2020年を目指して移行を進めている企業・業界はあるが、多くの企業が移行対応の時期を2025年までと考えている



(2) 代替策

- ・特定の方法は決まっておらず、ベンダー各社は既存サービスでの対応を進めている

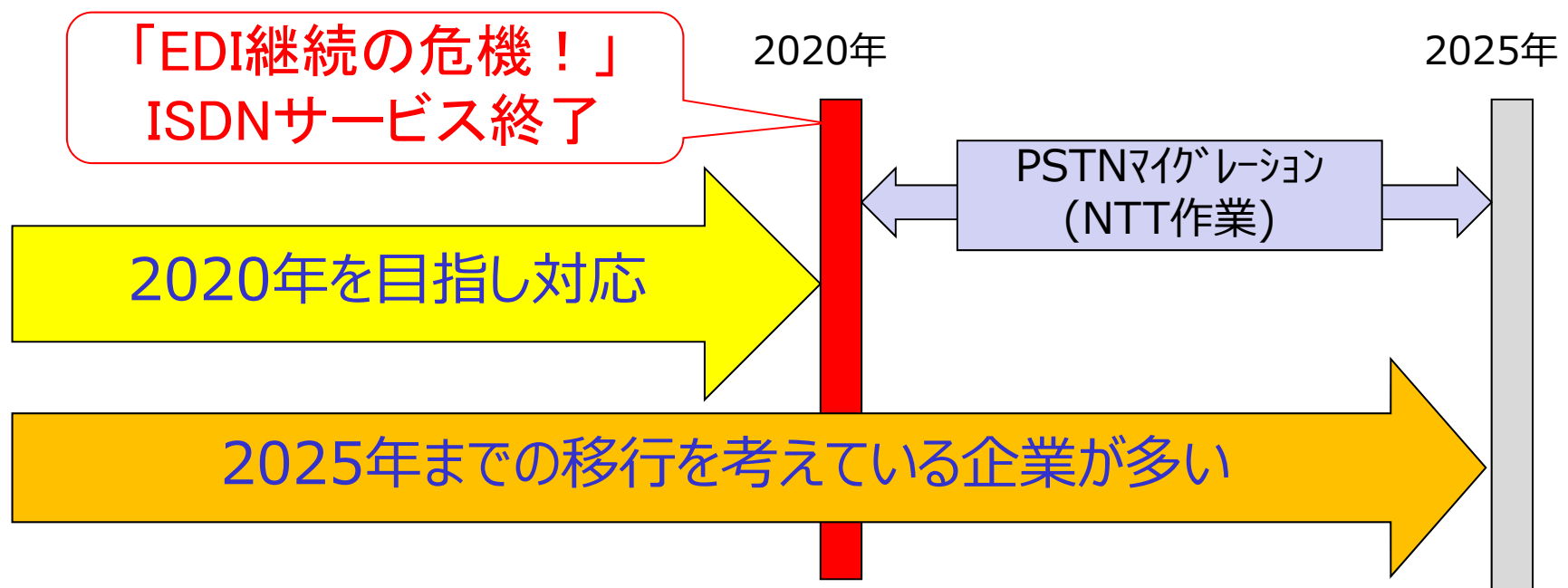
2. 「電話網（PSTN）からIP網への円滑な移行について」

NTT東日本・NTT西日本

3. 想定される対応策について

(1) 取り組みの状況

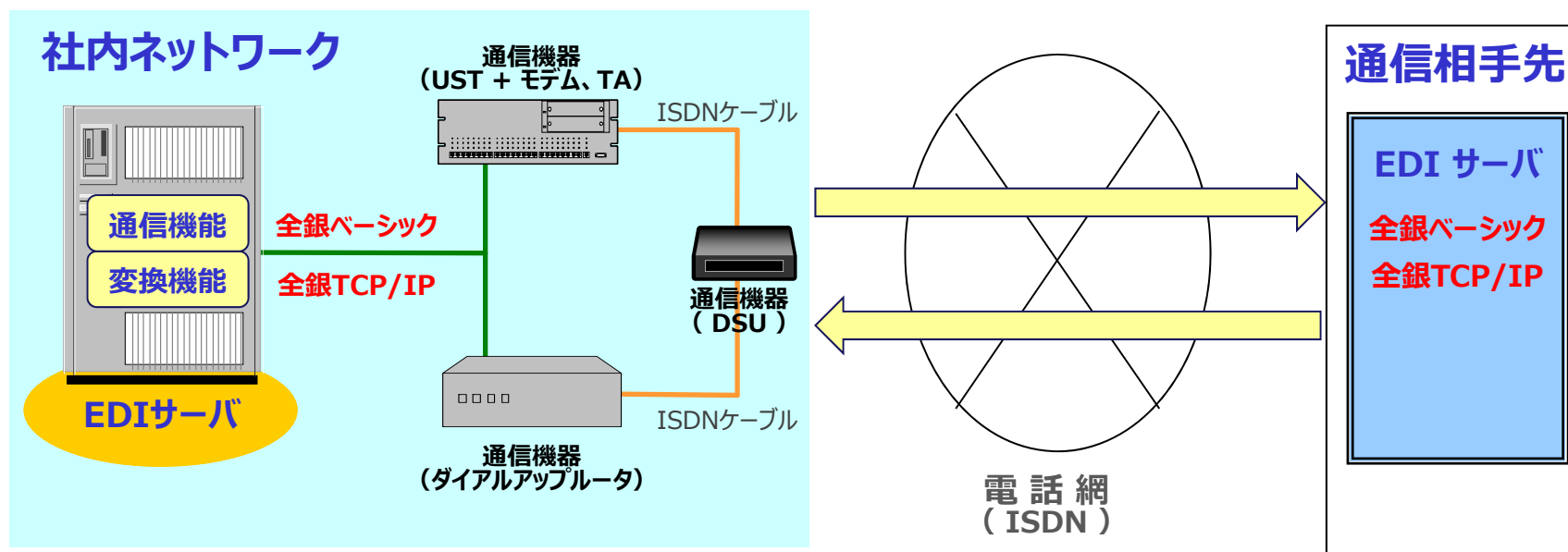
- ・2020年を目指して移行を進めている企業・業界はあるが、多くの企業が移行対応の時期を2025年までと考えている
- ・ISDNサービスは2020年に終了 (NTT)



現状の構成

以下のように **EDIシステムを自社サーバ構築し、電話網 + 全銀ベーシック手順、もしくは全銀TCP/IP手順を使用して JPCA-BP を実現しているケースを「現状構成例」とする。**

■ システム構成例 (自社サーバ構築型)



現状のシステム構成への影響をできるだけ抑えた
ソリューション例

(a) インターネットを利用したセキュア通信ソリューション

インターネット上でセキュアなEDIが可能な通信方式に移行

(b) ASPソリューション

ASP (VANを含む) サービスを利用した接続に移行

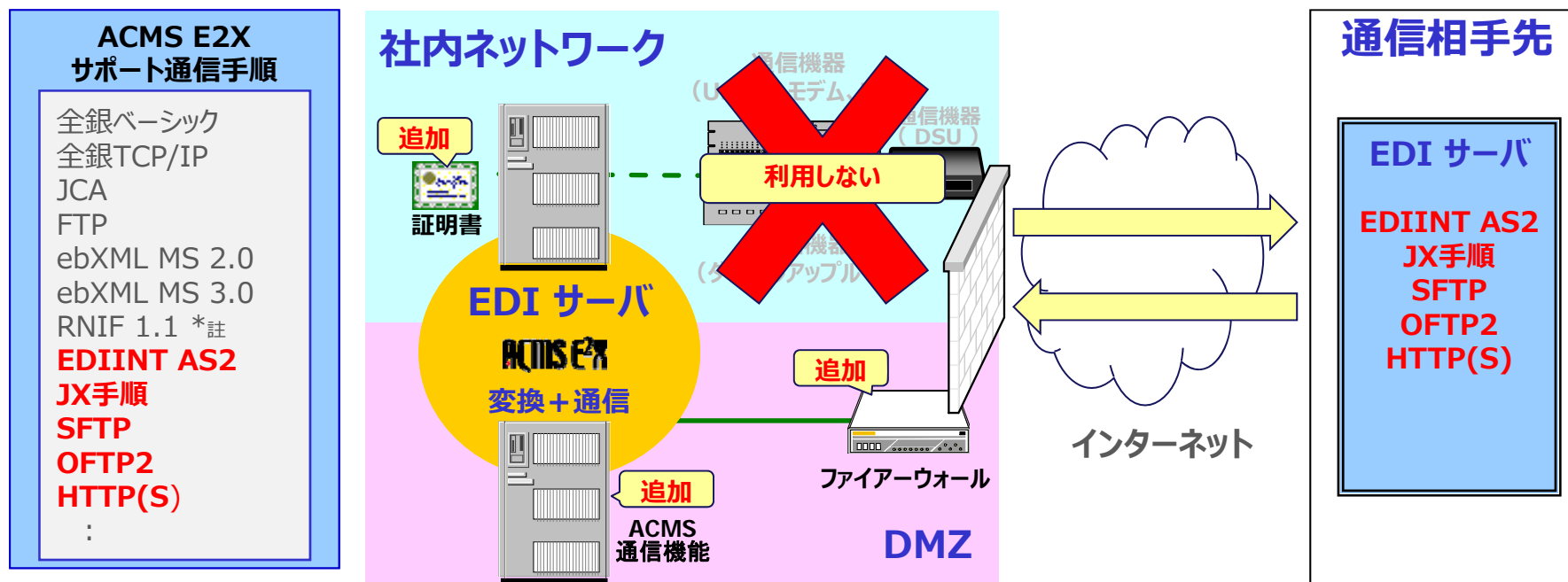
(c) アダプタによるIP化ソリューション

通信部分の口にアダプタを挿入し、IP通信に移行

(a) インターネットを利用したセキュア通信ソリューション

インターネットで利用できる通信手順を使用して、JPCA-BPメッセージの交換を実現

■ システム構成例（自社サーバ構築型）



※註 RosettaNet、Chem eStandardsで利用されている方式

(a) インターネットを利用したセキュア通信ソリューション

<セキュア通信ソリューションの特徴>

- 通信費（電話代）が不要になる（インターネット経由になるため）
- モデム等の電話網用通信機器のメンテナンス費削減が可能
- 移行並行期間を設けることができるため、通信相手先毎の順次切替が可能
- 全銀手順の仕様に依存した運用は見直す必要がある
- インターネット経由のどの通信手順が最適であるか現時点で判断するのが難しい。
（通信時のセキュリティ対策も要検討）

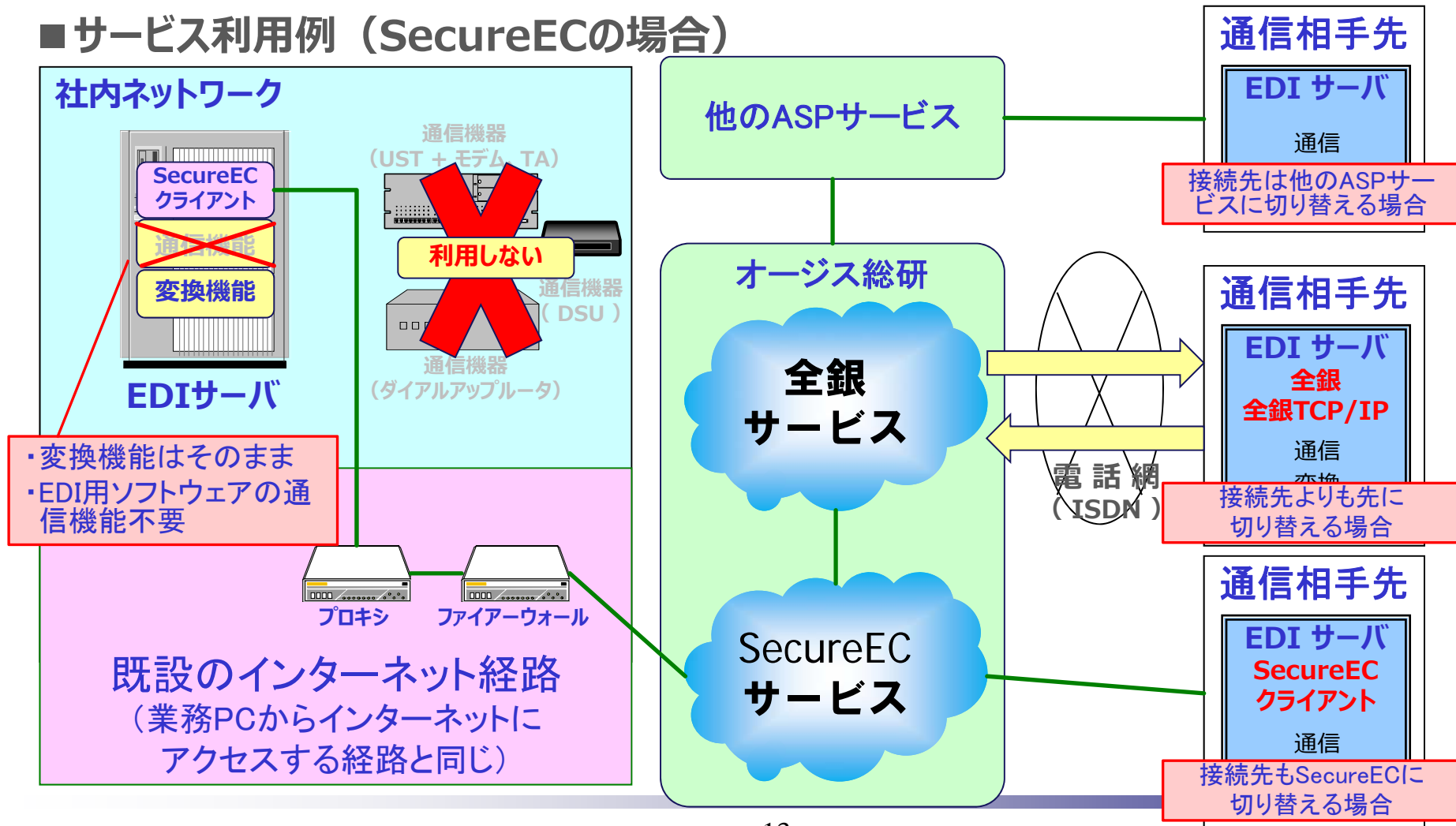
<ACMS の特徴>

- 既にACMSを利用している場合は、インターネット系手順対応用に新規EDIソフトを購入する必要がない
- ACMSがサポートしている手順間での切替（移行）となるため、切替作業が容易
- 切替に失敗にしたとしても、該当通信相手先のみでの切り戻しが可能
- セキュリティ強化のために DMZ、セキュリティ証明書、ファイアーウォールなどが必要。
既に存在しているものがあれば継続利用可能

(b) ASPソリューション

インターネット経路でファイル転送できるASPサービスを利用して、JPCA-BPメッセージの交換を実現

■ サービス利用例 (SecureECの場合)



(b) ASPソリューション

<ASPソリューションの特徴>

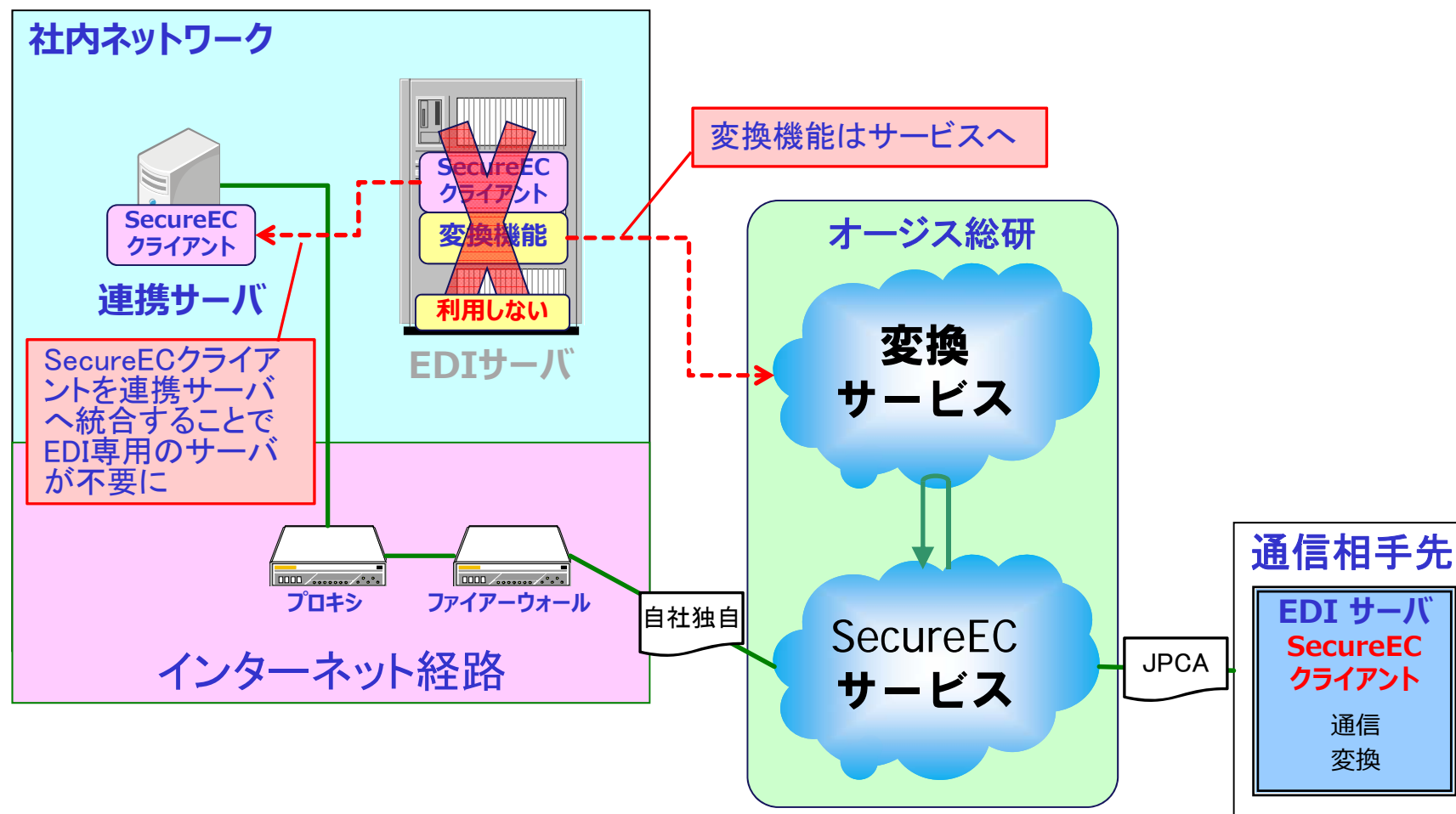
- 通信費（電話代）が不要になる（インターネット経由になるため）
- モデム等の電話網用通信機器のメンテナンス費削減が可能
- 自社だけインターネット経由の伝送方式に切替可能。これにより並行期間を設けての順次切替がしやすい
- 取引先に通信接続先をASPサービスに切り替えてもらう必要があるが、切り替えテストはASPサービスにて対応
- 通信時のセキュリティは、ASPサービスで担保されるため利用者側で考慮不要
- 全銀手順の仕様に依存した運用は見直す必要がある

<SecureECの特徴>

- クライアント/サーバ型サービスのため、クライアントから発信する送受信のみ可能（業務PCからインターネットのサイトへのアクセスと同じ動作のため同経路を利用可能）
- クライアントソフトが支給されるので、通信用ソフトの調達が不要になる
- 通信機能に加えて変換機能をASPサービスに移すことで、EDIサーバ自体を廃棄可能（次ページ参照）

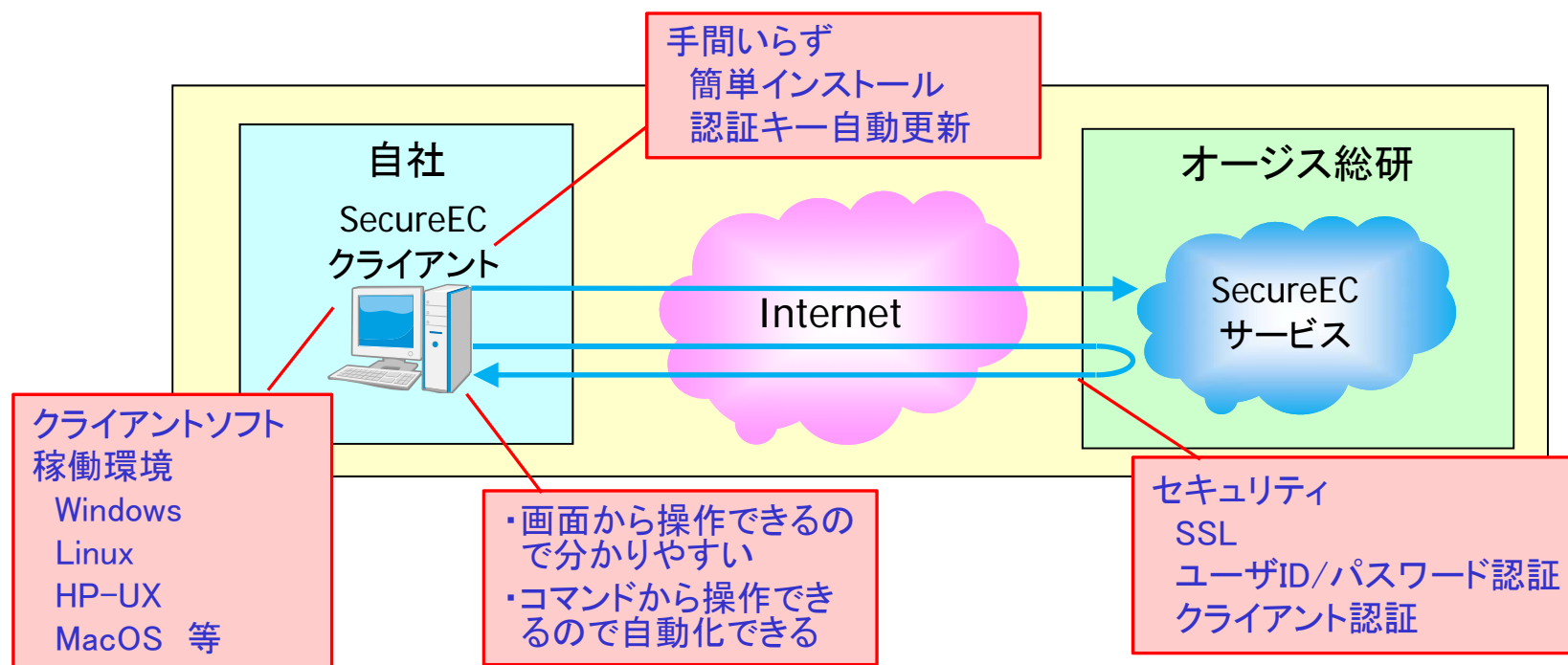
(b) ASPソリューション

■ サービス利用例 (SecureECへ切替、変換機能もASPサービスに移行した場合)



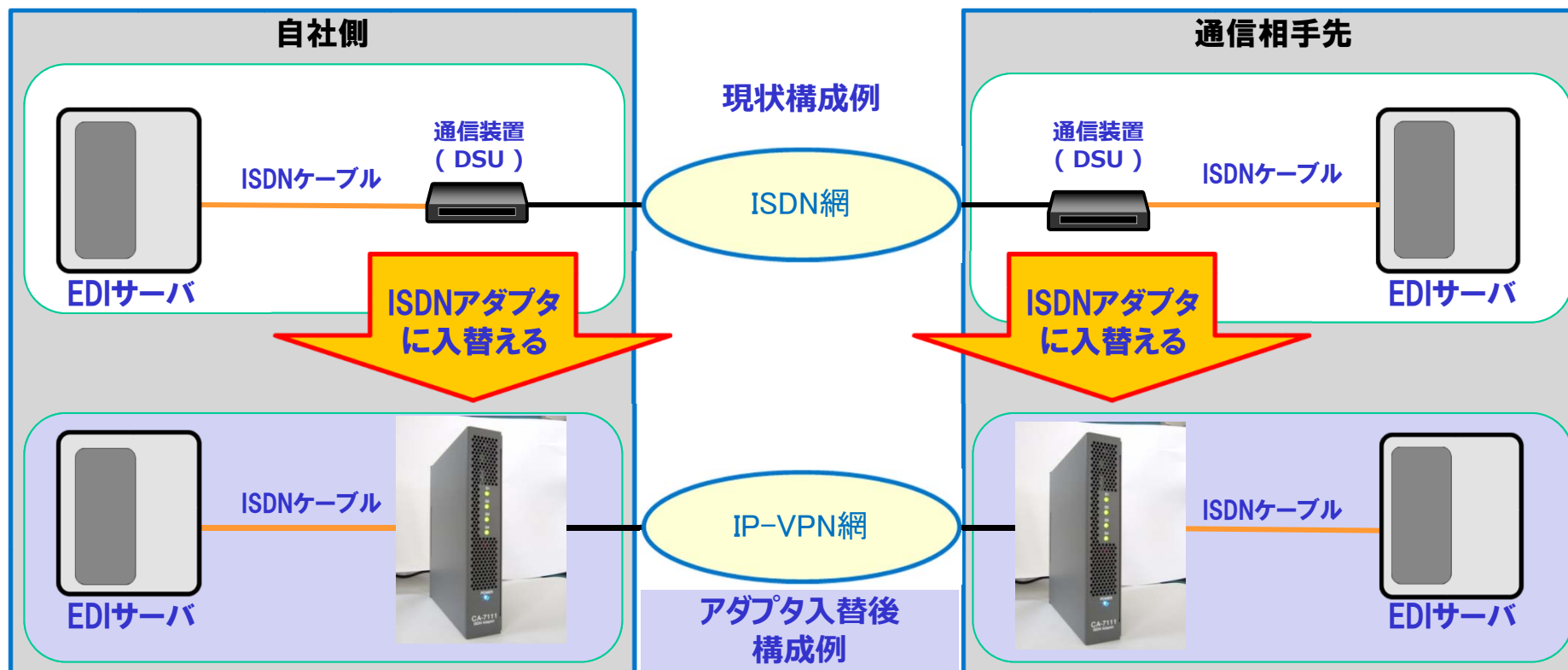
(b) ASPソリューション

- 利用するサービスの例
 - サービス名：SecureEC
 - 提供会社：オージス総研
 - 利用イメージ



(C) アダプタによるIP化ソリューション

自社側、通信相手先側共にISDN変換アダプタを導入するだけ。
ご利用中のISDN端末の設定はそのままでIP網に移行できます。



(C) アダプタによるIP化ソリューション



<IP化ソリューションの特徴>

- 通信部分の口にアダプタの挿入をするだけで、既存EDIシステムや既存アプリケーションの継続利用が可能となる
- IP-VPN網の準備が必要
- 通信環境によっては通信遅延が生じる可能性あり
- モデム接続の場合（公衆回線を利用している場合）もいずれ検討が必要となる可能性がある

<CA-7110（仮）の特徴>

- 通信装置（DSU）を CA-7110（仮）に置き換えるだけで対応可能
- 自社側と通信相手先側双方に CA-7110（仮）を導入する必要あり

**CA-7110（仮）を使用したPSTN/ISDNマイグレーションについては、
セイコーソリューションズにご相談ください**

(C) アダプタによるIP化ソリューション

セイコーソリューションズ社製 ISDN変換アダプタCA-7110(仮称)
近日正式発表予定！

★製品概要

ご利用中のISDN端末の設定をそのままIP網に移行できます。

TAやルータと同様な小型サイズ
縦置き/横置き/壁掛けに対応

ご利用中のISDN端末の設定は
そのままIP網に接続できます

LANポート
IP網に接続します

ISDNポート
ご利用中のISDN端末
を接続します



ISDN変換アダプタCA-7110(仮称)

INTEROP2015(6月10日(水)~12日(金)、会場:幕張メッセ)

セイコーソリューションズブースで出展いたします

現時点では、ISDN + 全銀手順の通信方法と同程度の費用・セキュリティを満たすインターネットを利用したソリューションは見当たらない。

そこで、化学会社と関係各社（商社、パートナー企業等）が協調連携して

- インターネット化方式の検討と選定
⇒ 2016年度を想定
- インターネット化時期の調整
⇒ 2020年を想定

等を行いJPCA-BPのインターネット化に対応していく予定。

ご清聴ありがとうございました。